

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・ グローバル・グレートコンシューマー 株式ファンドⅡ

豪ドル・コース(毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

第92期(決算日 2022年4月19日)
第93期(決算日 2022年5月19日)
第94期(決算日 2022年6月20日)
第95期(決算日 2022年7月19日)
第96期(決算日 2022年8月19日)
満期償還(償還日 2022年9月16日)

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

◇SKU0562720220916◇

<5627>
<5628>
<5629>

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース（毎月分配型）

<5627>

追加型投信／内外／株式

第92期	2022年4月19日決算	第95期	2022年7月19日決算
第93期	2022年5月19日決算	第96期	2022年8月19日決算
第94期	2022年6月20日決算	満期償還	2022年9月16日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式の値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	12,093円51銭
	純資産総額	210百万円
第92期～償還期	騰落率	△9.7%
	分配金合計	75円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

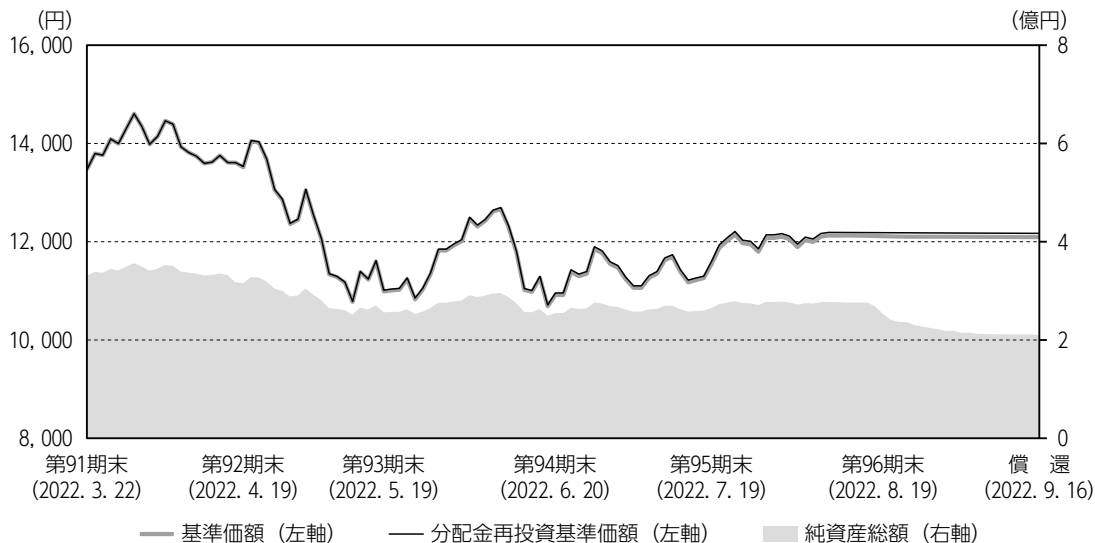
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第92期首：13,480円

償還時：12,093円51銭 (既払分配金75円)

騰落率：△9.7% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

豪ドルが対円で上昇 (円安) したことはプラス要因でしたが、保有銘柄が下落したことがマイナス要因となったことなどから、基準価額は下落しました。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第92期～償還期 (2022. 3. 23～2022. 9. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	77円	0.631%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,216円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	77	0.631	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

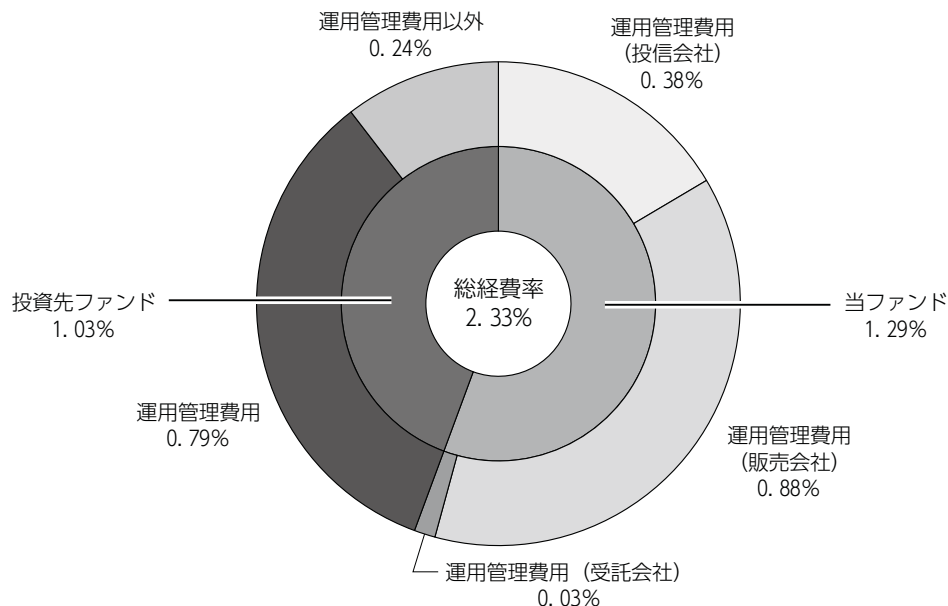
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.33%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.33%
① 当ファンドの費用の比率	1.29%
② 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79%
③ 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

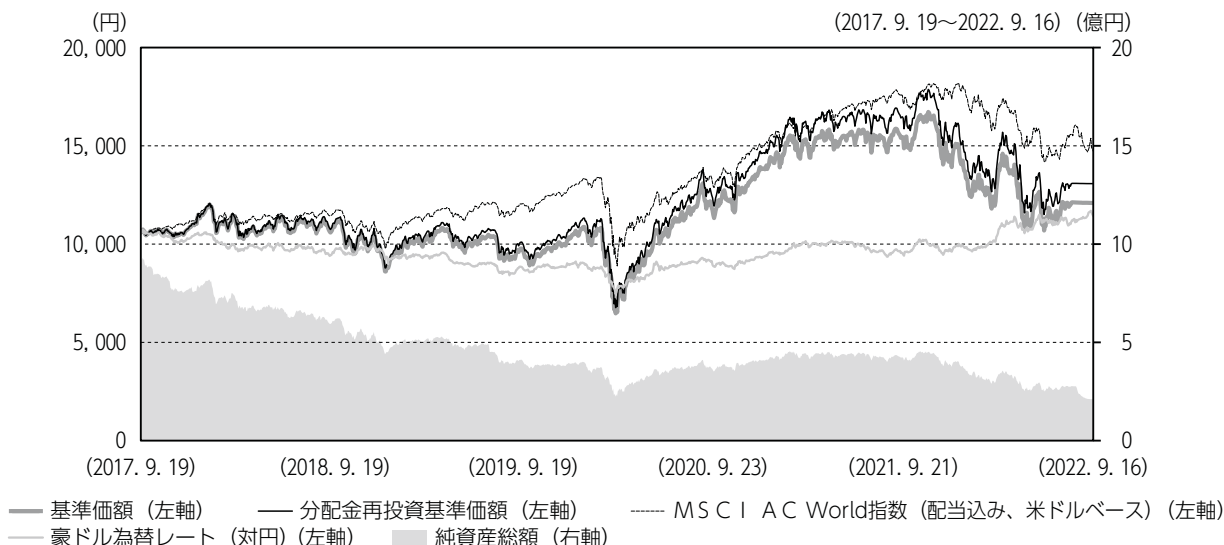
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2017年9月19日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 参考指数はM S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) および豪ドル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2017年9月19日 期初	2018年9月19日 決算日	2019年9月19日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月16日 償還時
基準価額 (円)	10,589	10,867	9,705	11,723	15,354	12,093.51
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	180	180	180	180	165
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	4.3	△9.1	23.0	32.6	△20.2
M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	9.6	3.8	8.9	30.7	△14.1
豪ドル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△8.8	△9.0	1.7	5.9	20.7
純資産総額 (百万円)	920	607	408	363	420	210

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率は、M S C I Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

（2014. 6. 27 ～ 2022. 9. 16）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

当ファンド設定時から2018年1月にかけての世界株式市況は、世界経済の回復や良好な金利環境が支援材料となり、上昇基調で推移しました。2019年末にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱や米中間の貿易摩擦など、世界景気に対する不確実性が高まったことで下落する場面も見られましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融緩和姿勢への転換観測などから底堅く推移しました。2021年末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大を受けて一時急落しましたが、各国で積極的な金融緩和政策や景気刺激策が打ち出されたことや、新型コロナウイルスのワクチンの開発・接種が進展したことにより経済活動が正常化に向かうに連れて上昇しました。その後は、米国の金融政策への懸念や、ロシアのウクライナ侵攻を受けて原油価格が上昇し、世界的なインフレ懸念が高まったことなどから、不安定な値動きとなりました。

■為替相場

豪ドルは対円で横ばいとなりました。

当ファンド設定時から2015年ごろまで、金利低下による相対的な投資魅力の低下などを背景に、豪ドルは対円で下落（円高）しました。その後2017年ごろまではリスクに対する投資家心理が良好な中で豪ドルは上昇したものの、2018年以降は米中関係の悪化が懸念される中でリスクに対する投資家心理は悪化し、豪ドルは再び弱含んで推移しました。2020年3月には新型コロナウイルス感染拡大を受けて豪ドルが下げ足を強める局面もあったものの、2020年半ば以降の豪ドルは対米ドルで堅調な推移となりました。

■短期金利市況

米ドルの短期金利は、2015年から2018年までFRB（米国連邦準備制度理事会）が複数回の利上げを行ったことで、上昇しました。2019年以降は、FRBが金融緩和にかじを切ったことや、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、短期金利は急低下しました。2022年3月以降は、インフレ加速に伴いFRBは断続的に大幅な利上げを実施しました。

豪ドルの短期金利は、RBA（オーストラリア準備銀行）が断続的に利下げを行ったことから、2020年末にかけて低下しました。その後、FRBと同様にRBAも大幅な利上げを行いました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

エクイティファンド 豪ドル・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンド 豪ドル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティファンド 豪ドル・クラス：ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド 豪ドル・クラス

■エクイティファンド 豪ドル・クラス

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資してまいります。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを維持する予定です。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れてまいります。

また、原資産通貨売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

(2014. 6. 27 ~ 2022. 9. 16)

■当ファンド

当ファンドは、エクイティファンド 豪ドル・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンド 豪ドル・クラスへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■エクイティファンド 豪ドル・クラス

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資を行いました。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを構築しました。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れました。

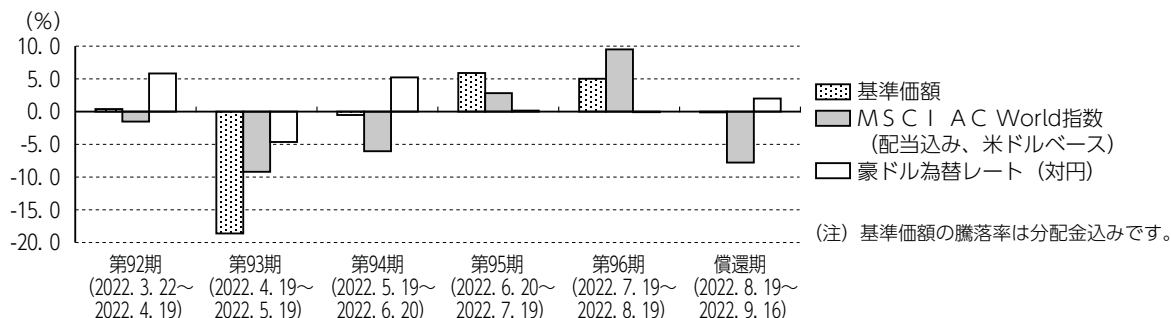
また、原資産通貨売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価および目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの当作成期における基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数は投資対象資産の市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当り、第1期～第96期各15円の収益分配を行いました。

また、第92期～第96期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたしました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2022年3月23日 ～2022年4月19日	2022年4月20日 ～2022年5月19日	2022年5月20日 ～2022年6月20日	2022年6月21日 ～2022年7月19日	2022年7月20日 ～2022年8月19日
当期分配金(税込み) (円)	15	15	15	15	15
対基準価額比率 (%)	0.11	0.14	0.14	0.13	0.12
当期の収益 (円)	2	—	—	3	5
当期の収益以外 (円)	12	15	15	11	9
翌期繰越分配対象額 (円)	6,463	6,448	6,433	6,422	6,412

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 2.88円	0.00円	0.00円	✓ 3.50円	✓ 5.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	268.51	269.89	271.32	271.87	272.36
(d) 分配準備積立金	✓ 6,207.09	✓ 6,193.59	✓ 6,177.16	✓ 6,161.61	✓ 6,149.64
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	6,478.49	6,463.49	6,448.49	6,437.00	6,427.12
(f) 分配金	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	6,463.49	6,448.49	6,433.49	6,422.00	6,412.12

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

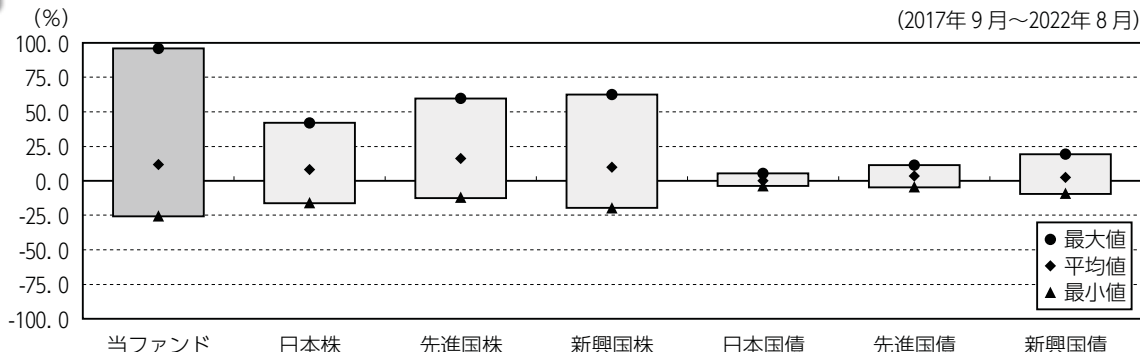


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2014年6月27日～2022年9月16日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド 豪ドル・クラス」（以下「エクイティファンド 豪ドル・クラス」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、エクイティファンド 豪ドル・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②当ファンドは、エクイティファンド 豪ドル・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エクイティファンド 豪ドル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③エクイティファンド 豪ドル・クラスでは、保有資産の表示通貨売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルへの投資成果の獲得をめざします。ただし、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替取引を行わない場合があります。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	96.0	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
平均値	11.9	8.3	16.2	9.9	0.1	3.5	2.5
最小値	△ 25.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末	償還時
	2022年 4月19日	2022年 5月19日	2022年 6月20日	2022年 7月19日	2022年 8月19日	2022年 9月16日
純資産総額	315,481,111円	256,522,555円	254,897,238円	265,178,238円	252,882,153円	210,122,476円
受益権総口数	233,398,130口	233,449,745口	233,503,797口	229,717,798口	208,880,526口	173,748,182口
1万口当り基準価額	13,517円	10,988円	10,916円	11,544円	12,107円	12,093円51銭

* 当作成期間（第92期～償還期）中における追加設定元本額は205,318円、同解約元本額は71,937,899円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）

<5628>

追加型投信／内外／株式

第92期	2022年4月19日決算	第95期	2022年7月19日決算
第93期	2022年5月19日決算	第96期	2022年8月19日決算
第94期	2022年6月20日決算	満期償還	2022年9月16日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式の値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	7,453円06銭
	純資産総額	329百万円
第92期～償還期	騰落率	△2.3%
	分配金合計	25円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

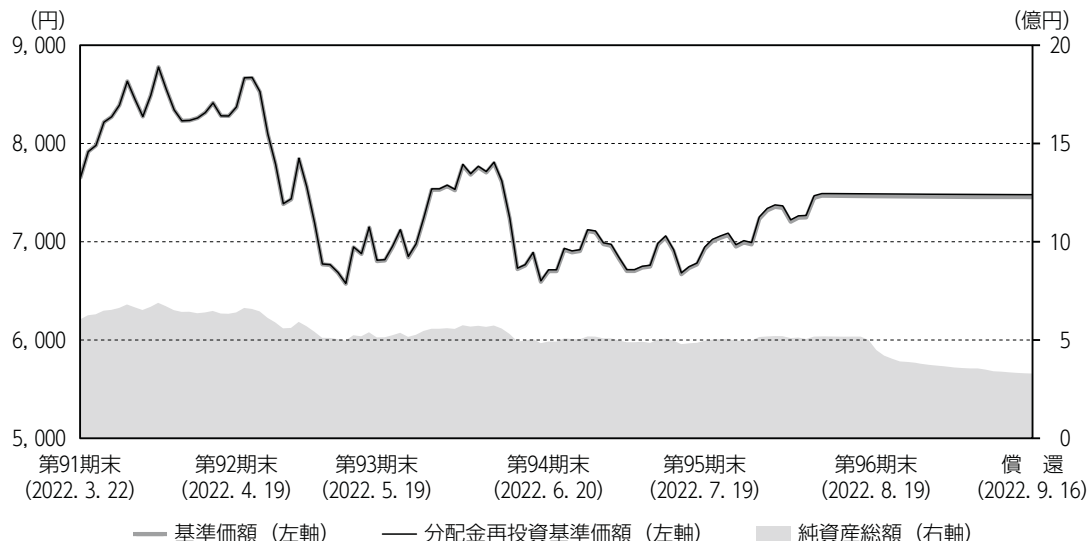
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第92期首：7,654円

償還時：7,453円06銭 (既払分配金25円)

騰落率：△2.3% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアルが対円で上昇 (円安) したことはプラス要因となりましたが、保有銘柄が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第92期～償還期 (2022. 3. 23～2022. 9. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	47円	0.631%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,434円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	47	0.631	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

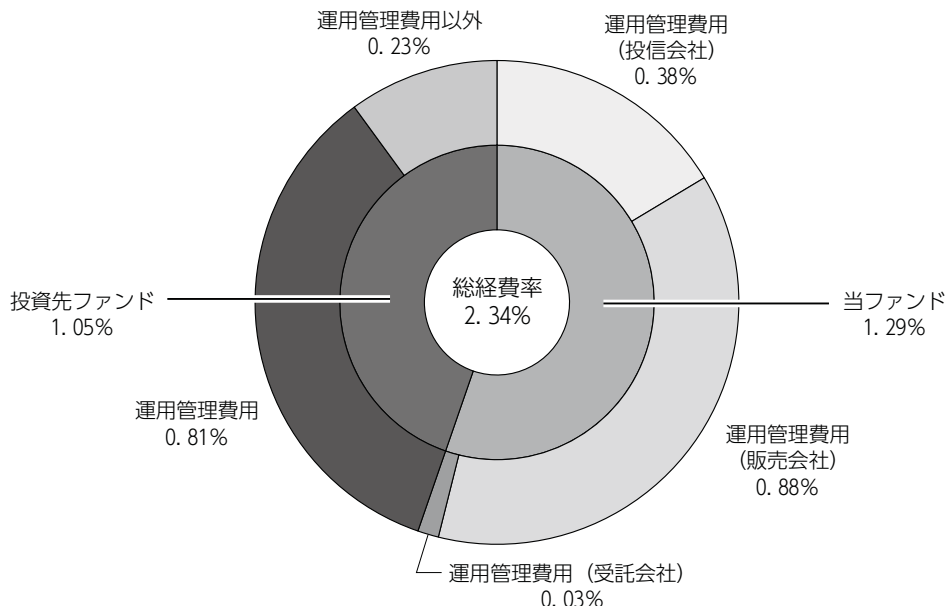
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.34%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.34%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

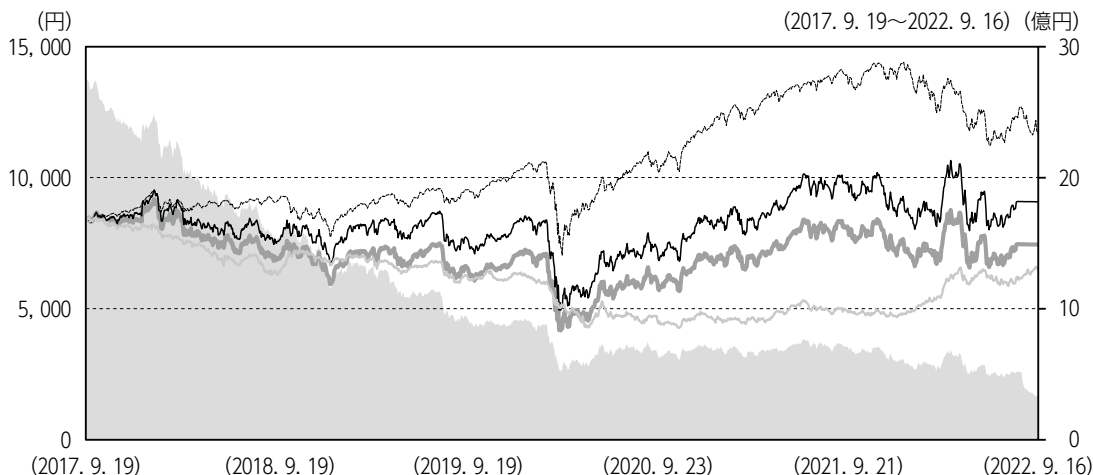
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2017年9月19日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数はMSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) およびブラジル・リアル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2017年9月19日 期初	2018年9月19日 決算日	2019年9月19日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月16日 償還時
基準価額 (円)	8,387	6,909	6,553	5,983	8,013	7,453.06
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	780	405	150	60	55
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△9.2	0.6	△6.3	35.0	△6.3
MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	9.6	3.8	8.9	30.7	△14.1
ブラジル・リアル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△24.1	△2.3	△27.1	7.0	32.6
純資産総額 (百万円)	2,730	1,533	931	661	699	329

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

（2014. 6. 27 ～ 2022. 9. 16）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

当ファンド設定時から2018年1月にかけての世界株式市況は、世界経済の回復や良好な金利環境が支援材料となり、上昇基調で推移しました。2019年末にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱や米中間の貿易摩擦など、世界景気に対する不確実性が高まったことで下落する場面も見られましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融緩和姿勢への転換観測などから底堅く推移しました。2021年末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大を受けて一時急落しましたが、各国で積極的な金融緩和政策や景気刺激策が打ち出されたことや、新型コロナウイルスのワクチンの開発・接種が進展したことにより経済活動が正常化に向かうに連れて上昇しました。その後は、米国の金融政策への懸念や、ロシアのウクライナ侵攻を受けて原油価格が上昇し、世界的なインフレ懸念が高まったことなどから、不安定な値動きとなりました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

ブラジル・リアルは、ブラジルの財政・政治リスクの高まりなどを背景に、当ファンド設定時から2021年末まで一貫して対円で軟調な推移となりました。しかし2022年以降は、コモディティ価格の上昇などから下落幅を縮小しました。

■短期金利市況

米ドルの短期金利は、2015年から2018年までFRB（米国連邦準備制度理事会）が複数回の利上げを行ったことで、上昇しました。2019年以降は、FRBが金融緩和にかじを切ったことや、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、短期金利は急低下しました。2022年3月以降は、インフレ加速に伴いFRBは断続的に大幅な利上げを実施しました。

ブラジル・リアルの短期金利は、当ファンド設定時から2015年半ばまでは上昇しました。その後、短期金利はブラジル中央銀行の断続的な利下げにより2020年までは大幅に低下しました。2021年以降は、ブラジル中央銀行が断続的な利上げを行ったため、金利は大幅に上昇しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティファンド ブラジル・リアル・クラス：ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド ブラジル・リアル・クラス

■エクイティファンド ブラジル・リアル・クラス

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資してまいります。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを維持する予定です。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れてまいります。

また、原資産通貨売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

(2014. 6. 27 ~ 2022. 9. 16)

■当ファンド

当ファンドは、エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■エクイティファンド ブラジル・リアル・クラス

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資を行いました。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを構築しました。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄など

を限定的に組み入れました。

また、原資産通貨売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

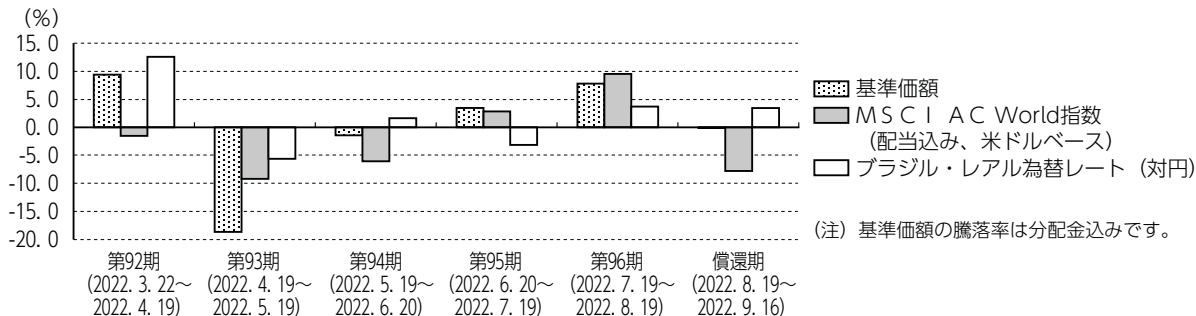
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの当作成期における基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当り、第1期～第40期各80円、第41期～第52期各60円、第53期～第58期各30円、第59期～第70期各15円、第71期～第96期各5円の収益分配を行いました。

また、第92期～第96期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたしました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2022年3月23日 ～2022年4月19日	2022年4月20日 ～2022年5月19日	2022年5月20日 ～2022年6月20日	2022年6月21日 ～2022年7月19日	2022年7月20日 ～2022年8月19日
当期分配金(税込み) (円)	5	5	5	5	5
対基準価額比率 (%)	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07
当期の収益 (円)	5	5	5	5	5
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	441	515	578	649	710

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 64.51円	✓ 78.34円	✓ 68.03円	✓ 76.63円	✓ 65.35円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	32.66	32.74	32.84	32.93	33.00
(d) 分配準備積立金	349.46	408.90	482.14	545.10	616.66
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	446.64	519.99	583.03	654.66	715.02
(f) 分配金	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	441.64	514.99	578.03	649.66	710.02

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

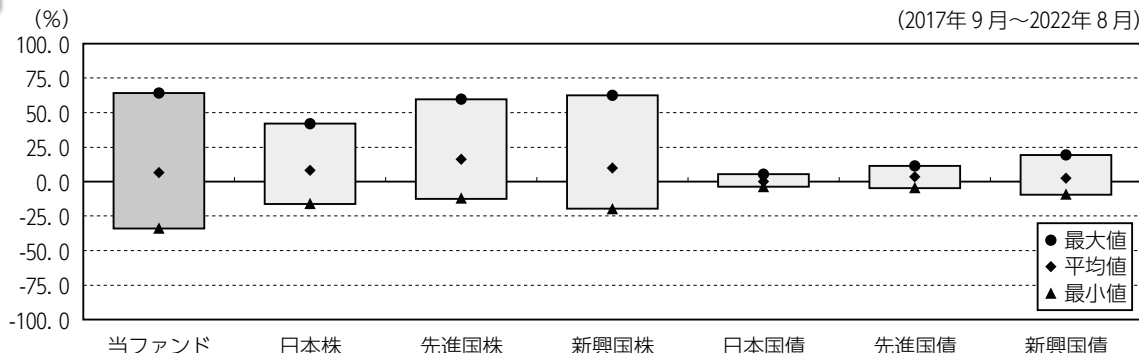


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2014年6月27日～2022年9月16日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド ブラジル・リアル・クラス」(以下「エクイティファンド ブラジル・リアル・クラス」といいます。)の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②当ファンドは、エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③エクイティファンド ブラジル・リアル・クラスでは、保有資産の表示通貨売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルへの投資成果の獲得をめざします。ただし、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替取引を行わない場合があります。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	64.3	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
平均値	6.6	8.3	16.2	9.9	0.1	3.5	2.5
最小値	△ 33.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末	償還時
	2022年 4月19日	2022年 5月19日	2022年 6月20日	2022年 7月19日	2022年 8月19日	2022年 9月16日
純資産総額	640,238,195円	513,488,879円	491,908,459円	496,335,714円	448,670,200円	329,695,848円
受益権総口数	765,232,904口	754,785,091口	734,038,512口	716,492,750口	601,346,010口	442,363,338口
1万口当り基準価額	8,367円	6,803円	6,701円	6,927円	7,461円	7,453円06銭

* 当作成期間（第92期～償還期）中における追加設定元本額は1,005,879円、同解約元本額は348,805,250円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

<5629>

追加型投信／内外／株式

第92期	2022年4月19日決算	第95期	2022年7月19日決算
第93期	2022年5月19日決算	第96期	2022年8月19日決算
第94期	2022年6月20日決算	満期償還	2022年9月16日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式の値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	6,526円26銭
	純資産総額	107百万円
第92期～償還期	騰落率	△5.9%
	分配金合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

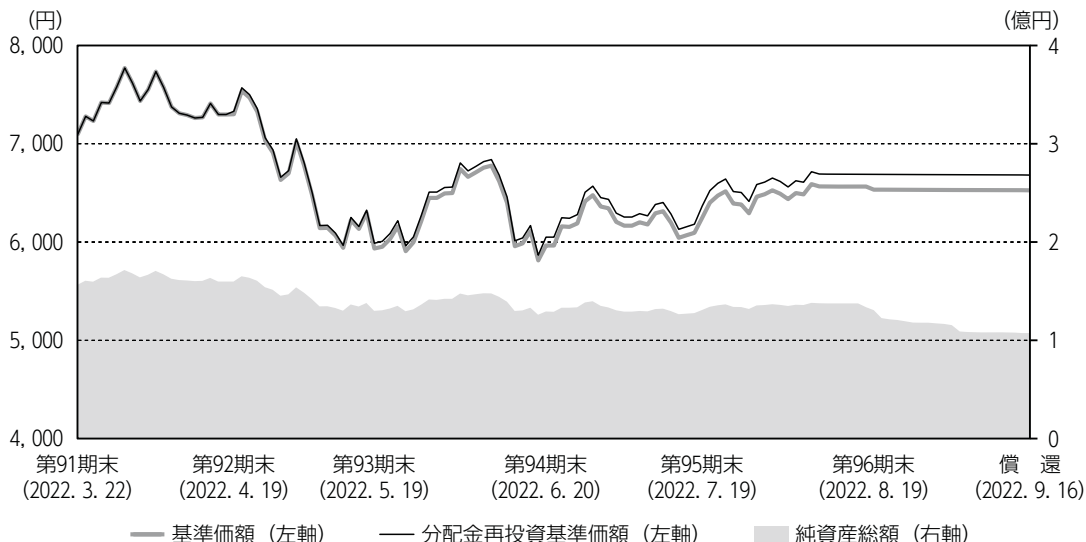
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第92期首：7,098円

償還時：6,526円26銭（既払分配金150円）

騰落率：△5.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

保有銘柄が下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第92期～償還期 (2022. 3. 23～2022. 9. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0.631%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,593円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	42	0.631	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

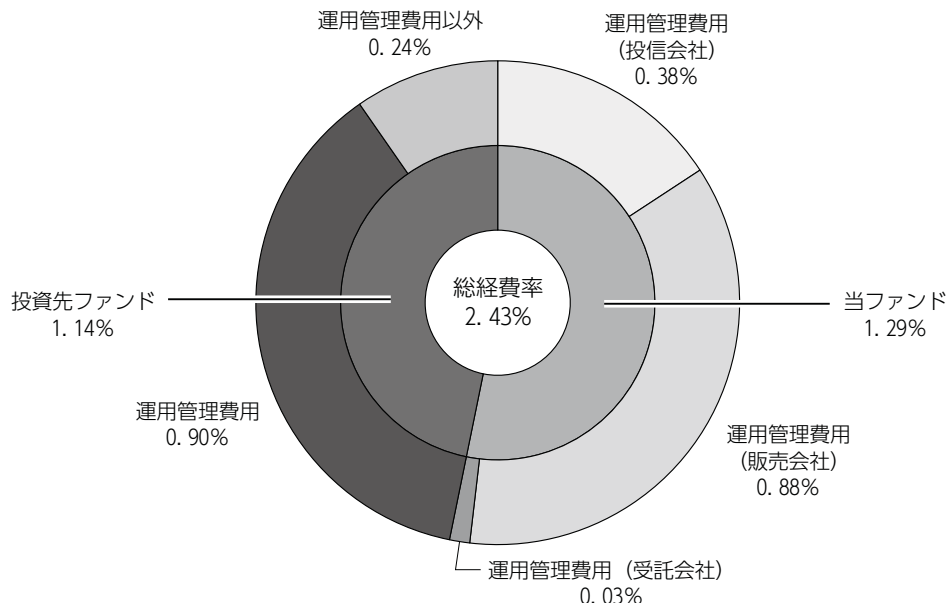
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.43%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.43%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.90%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

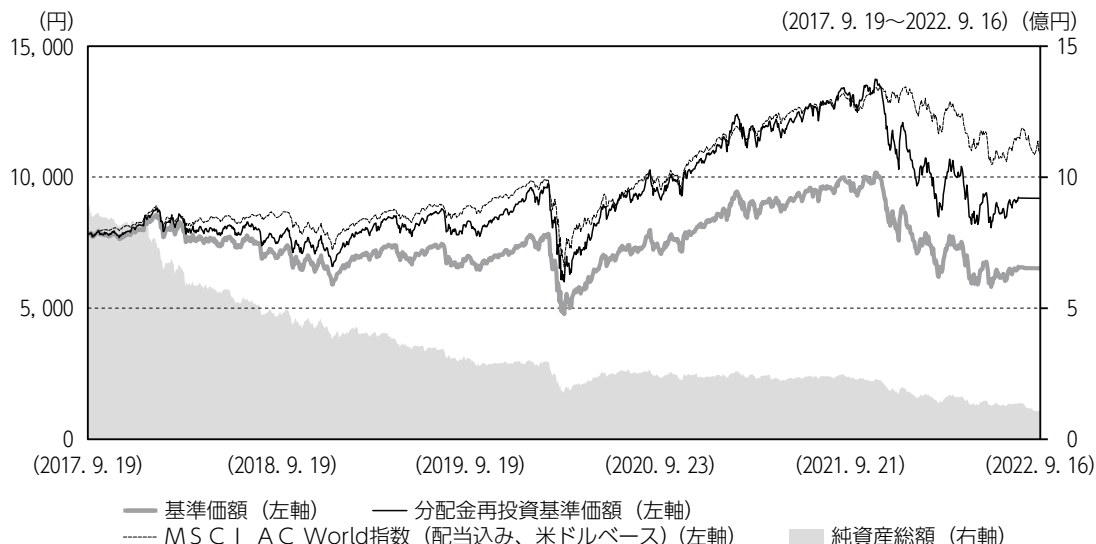
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2017年9月19日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 参考指数はM S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2017年9月19日 期初	2018年9月19日 決算日	2019年9月19日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月16日 償還時
基準価額 (円)	7,833	7,072	6,946	7,164	9,743	6,526.26
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	660	660	510	360	330
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.7	8.0	11.2	41.7	△29.9
M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	9.6	3.8	8.9	30.7	△14.1
純資産総額 (百万円)	887	473	307	236	236	107

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率は、M S C I Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース) は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

（2014. 6. 27 ～ 2022. 9. 16）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

当ファンド設定時から2018年1月にかけての世界株式市況は、世界経済の回復や良好な金利環境が支援材料となり、上昇基調で推移しました。2019年末にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱や米中間の貿易摩擦など、世界景気に対する不確実性が高まったことで下落する場面も見られましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融緩和姿勢への転換観測などから底堅く推移しました。2021年末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大を受けて一時急落しましたが、各国で積極的な金融緩和政策や景気刺激策が打ち出されたことや、新型コロナウイルスのワクチンの開発・接種が進展したことにより経済活動が正常化に向かうに連れて上昇しました。その後は、米国の金融政策への懸念や、ロシアのウクライナ侵攻を受けて原油価格が上昇し、世界的なインフレ懸念が高まったことなどから、不安定な値動きとなりました。

■為替相場

選定通貨（※）は、個別国要因などを背景に、対円でまちまちな動きとなりました。

中央銀行による通貨防衛姿勢などが好感されたインドネシア・ルピアや、当局による通貨安誘導が後退した中国・人民元などは対円で上昇（円安）しました。一方で、ロシアと欧米との関係悪化が嫌気されたロシア・ルーブルや、中央銀行に対する信認低下が懸念されたトルコ・リラなどは、対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した複数の通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に、米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

エクイティファンド 通貨セレクト・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※エクイティファンド 通貨セレクト・クラス：ダイワ・プレミアム・トラスト・ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド 通貨セレクト・クラス

■エクイティファンド 通貨セレクト・クラス

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資してまいります。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを維持する予定です。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れてまいります。

また、原資産通貨売り/選定通貨買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

(2014. 6. 27 ~ 2022. 9. 16)

■当ファンド

当ファンドは、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンド 通貨セレクト・クラスへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■エクイティファンド 通貨セレクト・クラス

新興国において売上成長が期待される銘柄の中から、同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに投資を行いました。地域別では、強固なブランド力などを有する米国や欧州などの先進国企業中心のポートフォリオを構築しました。新興国の銘柄に関しては、人口の増加、消費の拡大などがプラスに寄与する銘柄などを限定的に組み入れました。

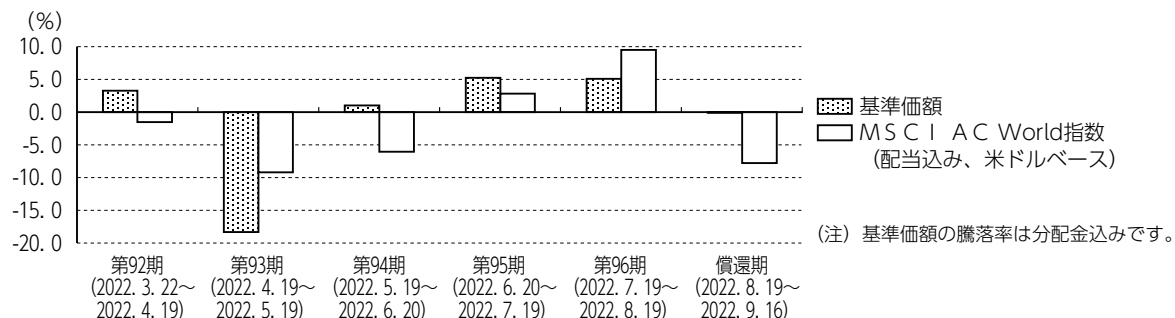
また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの当作成期における基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当り、第1期～第67期各55円、第68期～第96期各30円の収益分配を行いました。

また、第92期～第96期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたしました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2022年3月23日 ～2022年4月19日	2022年4月20日 ～2022年5月19日	2022年5月20日 ～2022年6月20日	2022年6月21日 ～2022年7月19日	2022年7月20日 ～2022年8月19日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.41	0.50	0.50	0.48	0.46
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	741	750	756	779	797

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.76円	✓ 38.48円	✓ 35.83円	✓ 53.41円	✓ 47.97円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	156.76	157.19	157.79	158.41	159.03
(d) 分配準備積立金	578.42	584.75	592.64	597.85	620.65
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	771.94	780.43	786.27	809.69	827.66
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	741.94	750.43	756.27	779.69	797.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



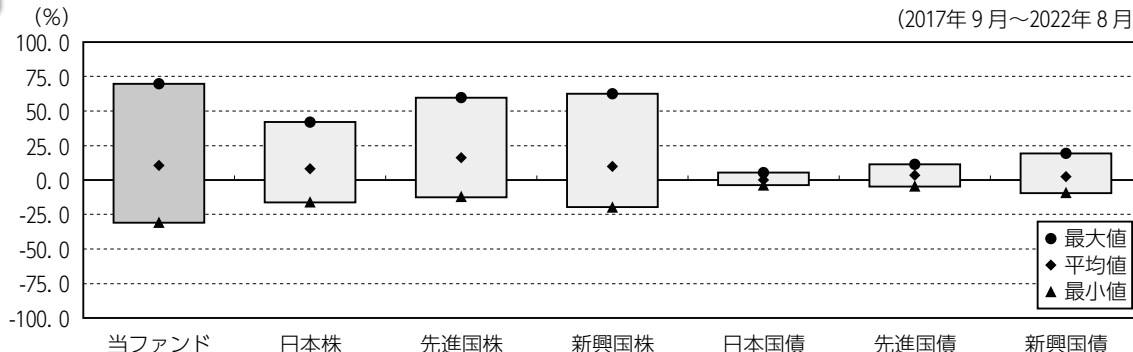
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2014年6月27日～2022年9月16日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド 通貨セレクト・クラス」（以下「エクイティファンド 通貨セレクト・クラス」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②当ファンドは、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③エクイティファンド 通貨セレクト・クラスでは、保有資産の表示通貨売り／選定通貨（※）買いの為替取引を活用して、選定通貨への投資成果の獲得をめざします。ただし、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替取引を行なわない場合があります。</p> <p>※当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した複数の通貨をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2017年9月～2022年8月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	69.8	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
平均値	10.7	8.3	16.2	9.9	0.1	3.5	2.5
最小値	△ 30.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60か月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末	償還時
	2022年 4月19日	2022年 5月19日	2022年 6月20日	2022年 7月19日	2022年 8月19日	2022年 9月16日
純資産総額	159,846,197円	130,046,265円	129,333,856円	130,781,901円	130,713,613円	107,364,215円
受益権総口数	218,979,891口	219,140,368口	216,863,488口	209,398,117口	200,072,814口	164,511,034口
1万口当り基準価額	7,300円	5,934円	5,964円	6,246円	6,533円	6,526円26銭

* 当作成期間（第92期～償還期）中における追加設定元本額は1,128,282円、同解約元本額は57,137,076円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。